

国立高等専門学校機構 見直し当初案概要

平成25年9月

文部科学省高等教育局専門教育課

法人の目的

国立高等専門学校を設置すること等で、職業に必要な実践的かつ専門的な知識及び技術を有する創造的な人材を育成するとともに、わが国の高等教育の水準の向上と均衡ある発展を図ること。

1. 事務・事業の見直し

高専機構が設置運営する国立高等専門学校は、これまで高度な専門知識と実践力を身につけた優秀な技術者を数多く社会へ輩出し、社会から高い評価を受けてきた。

近年のグローバル化の進展に伴い、産業構造・就業構造が大きく変化する中で、新たな産業界のニーズに応える優秀なエンジニアの養成に向けた教育改革を積極的に進める必要がある。

第Ⅲ期中期目標期間においては、社会や産業界の状況を踏まえながら、高専全体の教育研究リソースを集積させた共通基盤の構築や、学科再編等を推進すること等により、質の保証とともに個性的で創造性豊かな高専教育の展開を図る。

- 中長期的視点の元に、産業構造の変化や技術の高度化などに対応した教育を行うべく、各高専がそれぞれの地域性や特色、立地条件等に応じ、多様な発展を目指した検討を行い、新分野への対応も視野に入れた学科再編等を行う。
- 全高専が利用できる教材の共有化を進めるとともに、学生の主体的な学びを実現するICT教育環境を整備することにより、モデルコアカリキュラムの導入加速化と質保証を推進する。
- 海外の教育機関との相互交流を推進するとともに、優れたグローバルエンジニアを養成するためのモデル校を開発・実施検証する。
- 積極的な広報、入試方法の改善及び学生寮の整備等を推進することにより、入学者の質を確保する。
- 従来実施してきた耐震化だけでなく、PCB汚染物等の廃棄処理等により、安全・安心な教育研究環境を確保するとともに、産業構造の変化や技術の進展に対応できる教育環境の充実を行う。

2. 組織の見直し

- 理事長のリーダーシップを発揮できるよう本部の業務及び組織体制を改善し、ガバナンスを強化する。

3. 運営の効率化及び自律化

- 全高専を通じた共通の教育基盤を構築するとともに、技科大等との連携を強化する。
- 産業界や地方公共団体との連携を強化し、共同研究・受託研究等を推進することにより、国立高専の持つ知的資源等の社会的活用を拡充するとともに、外部資金の獲得に努める。

国立高等専門学校機構の現状と課題

- ①国立高等専門学校機構が設置運営する高等専門学校は、第2期中期目標期間中においても、地域や産業界の要請に合った実践的な職業人養成教育が国内外から高く評価され、高い求人倍率や良好な就職状況等を維持してきた。
- ②近年のグローバル化の進展の中で産業構造・就業構造が大きく変化し、イノベーションの創出を担い、グローバルに活躍できる優れた技術者が求められている状況を踏まえ、高専の役割が従来の中堅技術者養成から、多様な環境において活躍できる創造的・実践的技術者の養成に転換しており、高等専門学校も社会のニーズに柔軟に対応していくことが求められている。
- ③第3期中期目標期間においては、厳しい公財政状況や社会全般の状況を踏まえながら、高専機構がリーダーシップを発揮して適時適切に方向性を示し、高専全体の教育研究リソースの共通基盤の構築や、学科再編等の教育改革を推進すること等により、質の保証を図るとともにより个性的で創造性豊かな高等専門学校教育の充実を図る。

次期中期目標期間における事務・事業の見直しの方向性

1. 事務・事業の見直し

- 各高等専門学校が行う自主的・自律的改革を支援すると共に、地域・産業界からのニーズや科学・技術の高度化に伴う新分野の設置や学科再編を進め、社会の要請に応える技術者の育成を推進する。
- 第2期中期目標期間後半に策定した高等専門学校教育のモデルコアカリキュラムの本格導入を進め、全ての学生が修得すべき到達目標に対応した自学自習用コンテンツや教材等を整備し、全高専で活用できるようにするとともに、アクティブ・ラーニングを拡充するために授業構造を改革することで、高等専門学校教育の質保証を図る。
- 高専教育の大きな課題の一つである英語力や国際コミュニケーション力について、教育内容・方法の改善とともに、留学生交流や海外教育機関との相互交流など国際交流・協働活動を充実するとともに、10代後半からの計画的なグローバルエンジニア育成のための拠点校を開発、検証していく。
- 高専教育を受けるに相応しい意欲と適性のある学生を確保するため、高校とは異なる高専教育について広報活動の充実や入学者選抜方法の改善を行い、学生寮の整備等を図ることで、優秀な入学者を獲得する。
- 引き続き学校施設の耐震化を進めると共に、計画的なPCB汚染物等の廃棄処理等により、安全・安心な教育研究環境を確保すると共に、高等専門学校教育の充実・高度化を実現する教育研究環境づくりを進める。

2. 組織の見直し

- 高専全体の教育研究の充実と各学校における個性豊かな発展を進めるため、理事長のリーダーシップが適切に発揮できるよう組織体制を改善する。また、社会の変化に対応した迅速な意思決定が可能となるよう、組織のガバナンスを強化する。

3. 運営の効率化及び自律化

- 高等専門学校教育全体の質を保証するとともに多様で創造性豊かな取組を推進するため、教職員・学生が共有・協働できる共通の教育研究基盤をICTを活用し構築する。また、これまでの技術科学大学等関係機関との連携を一層強化し、教育研究の革新や、学生の多様な成長を支援する。
- 関係機関・組織の連携協働を強化し、高等専門学校が有する知的資源等様々なリソースを多角的に活用・発展させるとともに、公的財源以外の資金の獲得を図る。